

氏名	久保 益秀
学位の種類	修士（鍼灸学）
学位記番号	鍼修第488号
学位授与の日付	令和6年3月12日
学位授与の要件	大学院規則第30条および学位規程第4条該当
学位論文題目	経筋流注とアナトミー・トレインの走行の比較に関する研究 —筋筋膜の一致率，類似点と相違点における考察—
指導教員	和辻 直

学位論文の要旨

【背景】

鍼灸診療では伝統鍼灸の一つの治療方法として運動機能に用いられる経筋治療がある。一方，運動機能への治療法としてアナトミー・トレイン（AT）がある。これらの2つの治療法はいずれも主な診療対象を筋腱とし，その筋腱の走行が類似しているとされているが，詳細に比較した研究は少ない。

【目的】

本研究では経筋流注上の筋を現代医学の観点で筋名を明らかにし，ATの各ライン上の筋と比較して，筋（筋腱，筋膜を含む）の一致率を求め，その類似性と相違性を検討した。

【方法】

経筋は『靈枢』経筋篇（明刊無名氏本）等の書籍から解剖学的な筋を特定し，経筋流注上の筋とATに所属する筋を走行が類似しているラインごとに比較し，どの程度の一致率があるのかを特定した。

【結果】

経筋流注とATライン上の筋の平均一致率は70.4%であり，『靈枢』経筋篇 第十三で「其支者」と記述されている支経を除いた平均一致率は77.8%となり，類似性があることが判った。なお経筋流注とATライン上の筋の一致率が，高い経筋と低い経筋を認めた。

【考察】

類似性について，『靈枢』経筋篇には筋の起始停止と作用の詳細な記載はない。しかし古代中国において全身的に行われた観察は，動きに対しての筋肉の連動性を十分に考慮されたものであったことが窺え，ATとの筋の平均一致率が70%を越えたと考えられた。相違性については，ATにはない支経やATに含まれない顔面筋について，さらに考察していく必要があることが判った。これらの類似性や相違性を如何に活用し，両者の補完できる可能性や新しい治療法への発展の可能性が今後の課題となった。

【結語】

経筋流注上にある筋とATライン上の筋を比較した結果，筋の平均一致率は70.4%，支経を除いた平均一致率は77.8%となった。これらのことから経筋とATとの筋走行には類似性があることが判った。